



小学6年 道徳「真の友情」

将来の夢や目標を持っていますか

令和7年度 全国学力・学習状況調査結果より

- 1 あてはまる
- 2 どちらかといえばあてはまる
- 3 どちらかといえばあてはまらない
- 4 あてはまらない
- 5 無回答

小学6年生				
全国	60.7	22.4	10.3	6.6
県	62.3	22.7	9.2	5.8
町	57.2	22.4	9.2	10.5

中学3年生				
全国	35.5	32.0	21.9	10.2
県	32.9	32.0	23.3	11.2
町	28.9	31.0	23.9	16.2



キャリアとは

生涯を通じて果たす役割の連なりや積み重ねであり、自己の価値や自分との関係を見いだしていくこと

小学生で約2割、中学生で約4割の子が、否定的な回答をしています。肯定的な回答をした子は、全国、県、町も小学生に比べて中学生が低くなっています。キャリア教育が大切なことが分かります。

人間関係形成・社会形成能力

他者との良好な関係を築き、社会の一員として協力する力。

自己理解・自己管理能力

自分自身の個性、長所、短所を理解し、感情や行動をコントロールする力。

キャリア教育で身につけさせる能力

キャリア教育で身につけさせる能力は主に4つに分類されます。これらの能力は相互に関連しており、キャリア教育全体を通して育成されるものです。

課題対応能力

課題を発見・分析し、計画を立てて解決する力。変化に対応できる柔軟性も含まれる。

キャリアプランニング能力

働くことの意義や多様な生き方を理解し、将来設計を立てて主体的にキャリアを形成していく力。

自分に気づき 未来を創る

～キャリア教育～

キャリア教育って何？

多くの人は、人生の中で職業人として長い時間を過ごします。このため、職業や働くことについてどのような考えを持つのか、どのような職業に就きどのような職業生活を送るのかは、人がいかに生きるか、どのような人生を送るか、ということと深く関わっています。

キャリア教育とは「子どもたち一人ひとりが学校で学ぶことと、社会との接続を意識し、社会的・職業的に自立できるように、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育」です。この教育は、子どもたちが将来にわたって自分らしく生き、社会の一員として自立していくことをめざすものです。職業教育が、特定の職業に必要な技能を学ぶのに対して、キャリア教育は、どんな職業を選んでも生きる土台作りを行うものです。

子どもたちにとって、自分の「将来の姿」を思い描き、それに近付こうとする意欲を持つことや、学習が将来役立つことを発見し自覚することなどが重要であり、これらは学習意欲の向上にもつながっていきます。

キャリア教育にかかわる法律

- 教育基本法（H18年改正）
各個人の有する能力を伸ばしつつ、社会において自立的に生きる基礎を培う
- 学校教育法（H19年改正）
職業についての基礎的な知識と技能・勤労を重んずる態度及び個性に応じて、将来の進路を選択する能力を養うこと

小・中学校学習指導要領（H29年改訂） 高等学校学習指導要領（H30年改定）

児童（生徒）が、学ぶことと自己の将来とのつながりを見通しながら、社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を身に付けていくことができるよう、特別活動を要として各教科等の特質に応じて、キャリア教育の充実を図ること

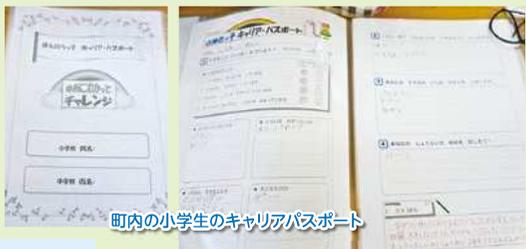


中学2年 職場体験

参考・引用：小学校キャリア教育の手引き（令和4年3月 文部科学省）
中学校・高等学校キャリア教育の手引き（令和5年3月 文部科学省）

キャリアパスポート

子どもたちは、一人ひとりが学びや活動の記録をファイリングして蓄積します。必要な時に振り返るなどして活用しています。



町内の小学生のキャリアパスポート

キャリアパスポートとは、児童生徒が自らのキャリア形成を見直し、振り返るために、学びや活動を記録するポートフォリオ(記録集)のことです。

2020年度から全国の学校で導入されています。

主な記録内容は、

- 今後の学習や生活でがんばりたいこと
- 学んだことや頑張ったこと、成長したこと
- 自身の変化や成長に対する自己評価
- 将来の夢や関心があること、なりたい自分など

小学校から高等学校まで継続して記録を蓄積することで、長期的な成長の記録として活用します。

子どもたちは

- 将来の夢と現在の学習とのつながりを意識し、主体的に学ぶ意欲を育む。
- 学習活動だけでなく、学校行事、部活動、家庭や地域での活動などを記録し、自己の成長を客観的に捉える。
- 記録を振り返ることで自己評価を行い、将来の生き方を考え、自己実現につなぐ。

教師は

- キャリアパスポートをもとに児童生徒と対話することで、成長を促したり、継続的な指導に役立てたりする。

特別活動・総合的な学習



修学旅行(キッザニア職業体験)

働くことの意義を学ぼう



小学5年瓦葺き体験(技能士の魅力に学ぶ)



修学旅行(キッザニア職業体験)



総合的な学習(琴南妖怪マップを作る)

地域の不思議を協力して探ろう

自分に気づき 未来を創るために



職場体験(中学校)

駅直所



スーパーマーケット

働くことの意義を学ぼう



自動車整備工場



子ども園



花屋



牧場



授業(教科・道徳)

中学2年道徳(思いやり・感謝)

自分の心に問いかけよう



小学3年理科(音の性質)

協力して課題を解決しよう



小学5年道徳(自分らしさの発見)



中学3年社会(選挙の課題と私たちの政治参加)



シリーズ『声』

第38回 教科の魅力語る

学校で子どもたちが学ぶいろいろな教科。それぞれの教科には、その教科の魅力やつけなければならない知識や能力などがあります。それぞれの教科を担当している先生方は、どのように考え指導しているのでしょうか。今回は、中学校の先生方に教科の魅力をお聞きしました。

感性を信じ、表現することを楽しむ

私は美術の授業をするうえで、生涯学習の側面を大切にしています。私たちの身の回りにある多くの物は、実は美術の延長線上にあります。家具、家電、建物、服など、どれも誰かが形や色を考え、丁寧にデザインした物です。美術は特別な才能を持つ人だけのものではなく、誰もが日常生活で自然と触れている学びだと考えています。そのため、生徒が作品に対して「上手」「下手」「下手」で考えるのではなく、「生徒一人ひとりが自分の関心を持っている分野を見つけていることを大事にしています。

例えば、授業では制作をしていくうえで、大きなテーマと使用道具の使い方は教えますが、細かいルールはほとんど設けてません。これまでの経験や好きなことを生かしながら「やってみよう」という気持ちを出発点にしてほしいからです。ある生徒は、普段から好きだった魚を題材に細部までこだわり抜きました。別の生徒は、以前習った技法を活かしながら、途中で失敗しながらも試行錯誤を続けました。どちらにも、生徒が自分自身で「これだ」と決めた方向性を大切に個別に指導をしています。そして生徒自身が納得した瞬間をゴールにできるような助けていきます。自分で完成の基準を持つことは、人生のあらゆる場面で役立つ大切な力だと思います。

また、美術を学校の中だけで終わらせないことも心がけています。外部の専門家の特別授業を行ったり、生徒の作品を芸術祭やまんの町役場ホールに展示したりする機会を積極的に作っています。自分の作品が地域のの方に触れ「かわいい」「発想が面白い」「声をかけてもらって、生徒の表情は驚くほど明るくなります。さらに、地域の野菜から絵の具を作ったり、まんの町の花を授業に使うなど、地域の物を活用した授業づくりを、私自身楽しみながら行っています。

美術は、「一人ひとりの『好き』や『挑戦』を形にし、それを社会と繋いでいく力のある教科です。生徒たちが授業を通して「自分の感性を信じ、表現することを楽しむ心」を育ててくれることを願っています。



満濃中学校 教諭(美術担当) 河西 紀亮

生徒の気付きや知的好奇心を刺激する授業

「なるほどー」「ああ、そうだったんだ」「わかったー」これらの声を聞くことは教員にとってかけがえのないものです。日々私たちは子どもたちの知的好奇心を揺さぶり、理解を深めさせることに全力を注いでいます。

さて、令和3年1月に中央教育審議会から、令和の日本型学校教育に関する答申が出されました。この中で謳われているのが個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実です。つまり、子ども一人ひとりの個性を尊重して、その子にあった学びを保証し、友だちと協力して課題解決に取り組みせようというものです。これまでの一斉授業では、教員が授業を構成し教える進めという授業でした。しかし、令和の日本型学校教育では、生徒が自分たちで教科書を読んだり動画を見たり話し合ったりしながら、自分たちのペースで授業を進めるといったものです。教員はそれを見守りサポートする役割を担います。

このような授業をするためには、生徒一人ひとりの考えや到達度を知ることができ、それに即したアドバンスや補足支援ができるようになっています。そして、前述のような生徒たちの「あー、そうか」「やーなるほど」「そのうちだっただんだ」といった声が多く聞かれるようになってきました。

また、生徒の中には動画を見たり同じような実験がしてみたいと、教科書を超えた更なる学びをしたくて考える生徒も見られるようになりました。

理科は、自然の事象の中に答えがあります。だから、それに自分の力で気づけるようになった生徒の姿こそが大切だと考えています。今後も、生徒の気付きや知的好奇心を刺激するような支援をしていきたいと思えます。



満濃中学校 教諭(理科担当) 真鍋 正史

■ 都市新人大会 (団体の部: 3位まで)

部活名	結果
剣道	男子 優勝
軟式野球	準優勝
バレーボール	男子 優勝
	女子 優勝
バスケットボール	男子 準優勝
	女子 3位
卓球	女子 3位
	男子 準優勝
ソフトテニス	男子 3位
	女子 3位
サッカー	優勝



2年連続 9回目

■ 県新人大会 (3位まで)

部活名	結果
剣道	男子団体の部 優勝
	男子個人 準優勝
卓球	中野 湊 3位
	松岡 勇志 藤井 惇平
サッカー	団体 準優勝

満中部活動! 大奮闘!!



■ 都市新人大会 (個人の部: 3位まで)

部活名	性別	結果
剣道	男子	中野 湊 優勝
		松岡 勇志 準優勝
		藤井 惇平 藤井 惇平 3位
ソフトテニス	女子	小嶺 志来 優勝
		小山 柚希 片山 実夢 3位
		小山 光結 3位
卓球	女子シングルス	坂本 星純 優勝
		松葉 千夏 3位



※ 卓球は1月10日~11日、バレーボールは1月24日~25日に県新人大会がありました。

共に学びを創る

11月7日 満濃南小学校で 町教育委員会指定の研究発表会が開催されました



2年 算数

「かけ算学校へようこそ ーかけ算(2)ー」



6年 理科

「見つけて、使おうてこのきまり ーてこのはたらきとしくみー」

研究協議



2年



6年

講演

「つながりが学力を育てる ー自立への教育に向けてー」

武庫川女子大学 教育総合研究所所長 志水 宏吉 先生





仲南小四年 岩田 紗葉



四条小六年 徳井 翠

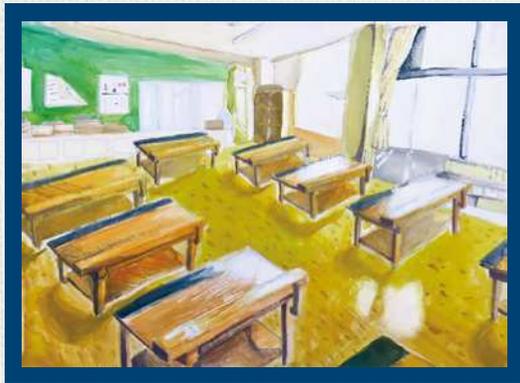


『2羽のインコ』
満濃中2年 前川 湘

こども美術館

『令和7年度香川県小・中学校総合文化祭展覧会』に、仲多度・普通寺地区の代表として出品された作品です

(R8.1.16~1.18
高松市美術館)



『光の差し込む図工室』
四条小6年 西岡 蒼生



『黒船に乗って』
仲南小4年 松園 樹



満濃中二年 佐々木 心桜



満濃中二年 藤井 惇平



『動物いっぱい森』
琴南小3年 寺田 麻音



『伝説のマグロ』
長炭小4年 田中 宏典



『バターナイフ』
満濃中2年 藤澤 咲奏

令和7年度 香川県小・中学校総合文化祭



科学体験発表会

優秀
「バクチンとカルシウムの化学反応」

満濃中2年
長谷川 美羽





編集後記

ベネッセ教育総合研究所が、東京大学社会科学研究所と共同で実施した「子どもの生活と学びに関する親子調査」のうち、子どものなりたい職業に関する結果（2024年）を下のように発表しました。

順位	小学4～6年	中学生	高校生
1位	プロスポーツ選手	教員	教員
2位	店員 (花屋・パン屋など)	プロスポーツ選手	看護師
3位	教員	医師	医師

2015年と2024年の調査結果を比較すると、小学生ではYouTuber・VTuberがランク外から4位に、高校生ではシステムエンジニア・プログラマーが13位から6位にランクアップしており、IT関連職への注目の高まりがうかがえます。

また、進路（将来）について深く考える経験をした子どもは、そうでない子どもに比べて学習時間が長い傾向があり、勉強が好きと回答する比率も高く、学習意識との関連が見られたそうです。

AIの急速な発達により、仕事の変革は避けられな

い流れとなっています。

アメリカの大リーグドジャーズで大活躍中の大谷翔平選手は、高校生の時自分の夢の実現に向けて未来シートを作ったそうです。そこには、野球に関わるだけでなく、運、人間性、メンタルの項目がありました。また、その後作った人生設計シートには、何歳の時に何を達成するのかが書かれていました。夢についての目標を明確に持ち、それを文字にし、そして実現するために努力する姿はとて素晴らしいです。

大人は、夢を真剣に考えている子どもが「〇〇をやりたい」「〇〇になりたい」と言うのを聞いて、子どものやりたい気持ちを認め、テストの点数や他人の評価で夢を諦めなくていいということを伝え、夢に向かって努力すべきことを一緒に考えて応援することが大切だと思います。

私たち大人には、子どもの可能性を信じて自分の夢に向かって努力する子どもたちを見守り支える責任があるのではないのでしょうか。

表紙絵：三好 湖音（満濃中学校美術部2年）

次号予告
(4月1日発行)

特集
園・学校ウォッチング

地域の魅力を学ぶ
満濃南小学校・琴南こども園